

東京都新宿区北新宿1-8-16
 東京土建一般労働組合
 電話03 (5332) 3971 (代表)
 FAX03 (5332) 3972
 発行人・編集人
 三木 勉

印刷部数11万9000部
 (購読料は組合費のなかに含まれています)
 (年間購読料 千八百円)
 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

企業交渉へ
情報提供を

10月22日、23日を中心に第72回大手企業交渉が行なわれます。現場からの情報が交渉の成果を左右します。コロナ禍での現場対応、法定福利費の問題など、情報を寄せてください。

大手現場の不払い
組合員共々
解決

「何で泣かねばいけない」

土建に励まされてがんばった

工事代金不払いのトラブルは後を絶ちません。大手が元請の現場で不払いを受けてしまい、一昨年、東京土建に相談をし、諦めずに交渉を続けて今年7月に解決したHさん。大手A社が元請のホテル改修工事現場に3次の下請で入っていたHさんは、設備工事の代金を請求したところ、2次の会社から支払いがないと説明されたため、所属している板橋支部に相談しました。

記都連の長谷部書記次長(時)とともに、国交省にも相談し、現場に関する資料を集め、工事代金は大手A社が支払うべきとの結論を得、A社と再三交渉を重ね、A社が750万円の解決金を支払うことで決着しました。

2018年、大手A社が元請のホテル改修工事現場に3次の下請で入っていたHさんは、設備工事の代金を請求したところ、2次の会社から支払いがないと説明されたため、所属している板橋支部に相談しました。そのうちに、大手A社から、直接、Hさんと請負契約した1次会社にも要請しましたが、Hさんはこのまま泣き寝入りかという状況に追い込まれました。

Hさんは「諦めようと思っただけですが、東京土建から、これで負けてはいけない、明

2018年、大手A社が元請のホテル改修工事現場に3次の下請で入っていたHさんは、設備工事の代金を請求したところ、2次の会社から支払いがないと説明されたため、所属している板橋支部に相談しました。そのうちに、大手A社から、直接、Hさんと請負契約した1次会社にも要請しましたが、Hさんはこのまま泣き寝入りかという状況に追い込まれました。

Hさんは「諦めようと思っただけですが、東京土建から、これで負けてはいけない、明



右から、長谷部全建総連賃対部長、H・Yさん、森板橋支部副主任書記、佐藤本部副主任書記



小野副委員長がマスクを活用して拡大を訴えた

足立
「皆さんに寄り添う」
マスクにメッセージ

【足立・書記・國武貴彦記】足立支部青井足立分會では秋の拡大月間に合わせ、「新型コロナウイルスに負けるな」と日頃の組合活動に感謝をこめて分會独自に2000枚のマスクを準備。5枚ひと組に分けたマスクにメッセージを封入し、「組合は皆さんに寄り添います。どんなことでも相談下さい」と、分會役員が心を込めて準備しました。

分會の組合員・事業所との関係は一朝一夕というわけにはいきません。「居心地のいい、頼りになる組合なら安心して紹介できる」そんな分會づくりを青井足立分會は地道に続けてきました。秋の拡大は分會内事業所から貴重な2人の新入社員を加入をいただき、幸先良いスタートを切ることでできました。今後も目標達成と組合員の要求に応えられるよう邁進します。

拡大月間・厳しいときこそ東京土建

9月16日、高砂神社での群會議に支部役員・分會役員で訪問。小野副委員長から拡大月間の協力の訴えと分會で用意したマスクの説明がありました。今年度から新任の小野副委員長がマスクを活用して拡大を訴えた

分會の組合員・事業所との関係は一朝一夕というわけにはいきません。「居心地のいい、頼りになる組合なら安心して紹介できる」そんな分會づくりを青井足立分會は地道に続けてきました。秋の拡大は分會内事業所から貴重な2人の新入社員を加入をいただき、幸先良いスタートを切ることでできました。今後も目標達成と組合員の要求に応えられるよう邁進します。



藏野さん(左)にフェイスシールドを渡す本間組織部長

西東京
コロナ対策グッズ持ち
事業所を訪れる

9月16日、西東京支部會館に本間組織部長の姿が。秋の拡大月間については何としてでも目標を達成すべく訪問行動に出かけるためです。西東京支部では9月第3週、地域分會の全組合員にチラシとマスクを2セットずつ

【足立・書記・國武貴彦記】分會は「コロナで運動が停滞しているが、厳しいときだからこそ助け合いの組合。できることからやっています」と語っていました。分會の組合員・事業所との関係は一朝一夕というわけにはいきません。「居心地のいい、頼りになる組合なら安心して紹介できる」そんな分會づくりを青井足立分會は地道に続けてきました。秋の拡大は分會内事業所から貴重な2人の新入社員を加入をいただき、幸先良いスタートを切ることでできました。今後も目標達成と組合員の要求に応えられるよう邁進します。

朝やけ

■菅義偉首相は副大臣會議のあいさつで、目指す社会像として、「まずは『自助・共助・公助、そして絆』です」と自助を第一に挙げ、「行政の縦割りの前例主義を打破し、既得権益にとらわれることなく規制改革を全力で進めよう」と語った。新自由主義的政策を継続させることに間違いはないようだ。

■NHKのETV特集「パンデミックが変える世界」紛争地帯からの「SOS」で、コロナ禍で混迷を深めるコンゴの状況が紹介されていた。コンゴにはスマホに使用されるレアメタル・タンタルが産出する。この利権をめぐる武装勢力が抗争を繰り広げ、住民は命の危機にさらされている。

■暮らして便利さをもちますスマホだが、その陰にあるコンゴなどの苦しみを知ることは、経済が極端にグローバル化したもと、先進国に住む我々にとって大切なことだろう。新自由主義的政策は国際的にも格差を生んでいる。そうした視野をもった政治が求められているのではないか。